



析出硬化型ステンレス鋼

**NAS 633 (UNS S35000)**

**特徴**

- ① セミオーステナイト系析出硬化ステンレス鋼のため固溶化熱処理後優れた加工性を有し、溶接性も良好です。
- ② 熱処理により高い強度が得られます。

1. 化学成分 化学成分は ASTM A693 , AMS5548 を満たします 単位 (%)

	C	Si	Mn	P	S	Ni	Cr	Mo	備考
規格	0.07 ~ 0.11	≦0.50	0.50 ~1.25	≦0.040	≦0.030	4.0 ~5.0	16.0 ~17.0	2.5 ~3.2	ASTM A693 TYPE633相当

2. 製造可能範囲

寸法 : 厚み 0.050~0.50mm 、 幅 5~510mm 仕上 : BA

3. 機械的性質および硬さ

ASTM A693 の規格値及び例として厚さ 0.254mm BA 仕上材を表1に

ASTM A693 SCT850 相当の熱処理を行ったものの機械的性質および硬さを表2に示します。

表1 機械的性質 ASTM A693

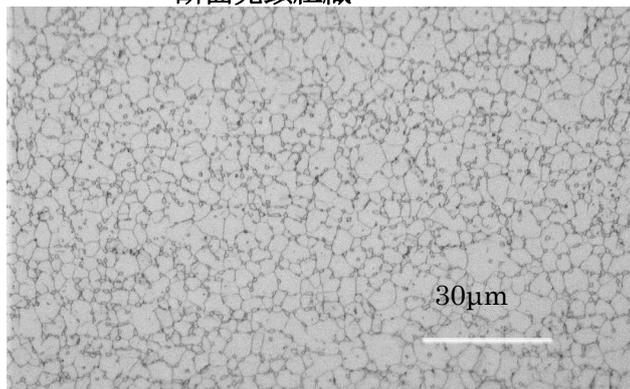
板厚(mm)	熱処理	仕上	0.2%耐力 (N/mm <sup>2</sup> )	引張強さ (N/mm <sup>2</sup> )	伸び(%) 以上	硬さ(HV) 以下
0.05~0.13 未満	固溶化熱処理	BA	≦595	≦1380	8	302
0.13~0.25 未満	固溶化熱処理	BA	≦585	≦1380	8	302
0.254 以上	固溶化熱処理	BA	≦585	≦1380	12	302
例 0.254	固溶化熱処理	BA	481	≦1230	23	256

表2 SCT 後の機械的性質の例

処理	処理条件	板厚 (mm)	0.2%耐力 (N/mm <sup>2</sup> )	引張強さ (N/mm <sup>2</sup> )	伸び(%)	硬さ(HV)
時効処理 SCT850 相当	930°C×10min⇒ -73°C×3hr⇒455°C×3hr	0.254	1413	1605	8	465

4. 製品(固溶化熱処理後)の断面光顕組織例

断面光顕組織





## 5. 用途

真空機器用、半導体製造装置用の溶接ペローズ

お問い合わせ先  
ナス鋼帯株式会社  
市場開発部（大阪）06-6228-1591  
（東京）03-5205-2541

特性データ取り扱い上の注意について  
本資料に掲載された技術情報は、特性試験によって得られた代表値や性能を説明したものであり、「規格」の規定事項として明記したもの以外は、保証上限値や保証下限値を意味するものではありません。  
また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最近の情報については、当社にお問い合わせ下さい。